KNIMEを使った 材料探索 基本操作(4)

早稲田大学 応用化学科講師(任期付) 畠山 歓

https://github.com/KanHatakeyama/

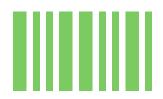
satokan@toki.早稲田.jp

今回扱う内容

Pythonのイ ンストール

各種モデルの利用

KNIME vs Python



KNIME

便利だが、標準で扱えるモデルが少ない



Python

自由度が高いが、プログラミングが大変





Pythonのインストール

環境依存性が結構強いので、上手くいかない可能性があります

動作確認済みの環境

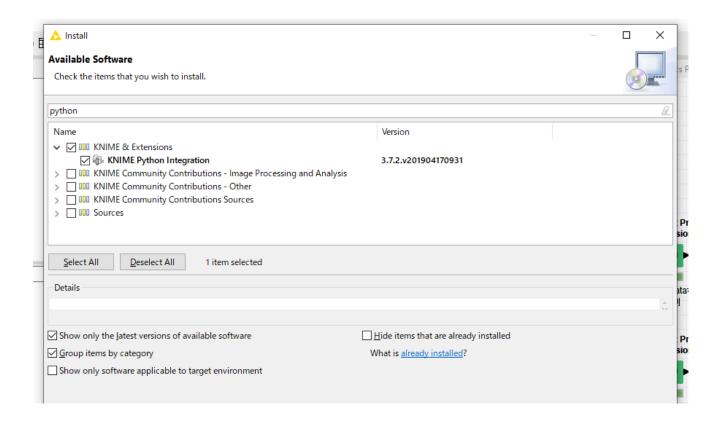
- Windows10
 - Macだと動かせない人がいました
- KNIME 4.2.0
 - 古すぎると微妙です
- Anaconda 4.8.3
 - ・後ほど説明
 - 2020/7/23現在の最新バージョンでも多分大丈夫です

Anacondaのインストール

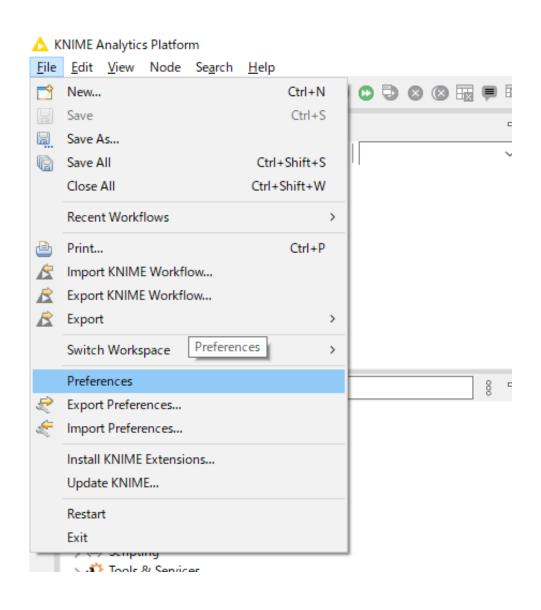
- Pythonの関連ライブラリを同梱したパッケージです。
- 下記URLダウンロードし実行して下さい。
- Python 3.7を選択 (2.7ではない)
- ファイルサイズが大きいので注意(展開すると数GB)

https://www.anaconda.com/products/individual

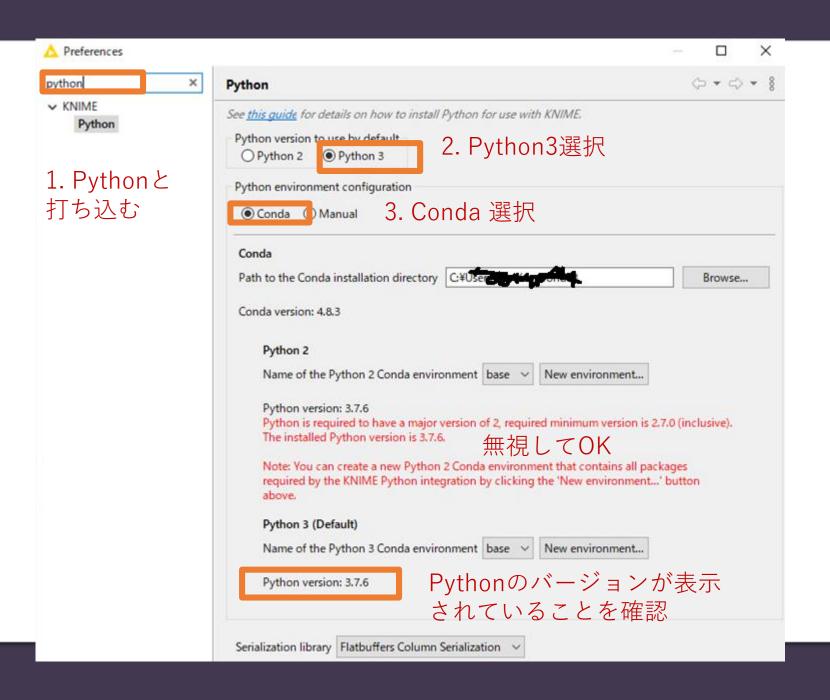
KNIMEにpython extensionを追加



• "KNIME Python integration"を追加して下さい

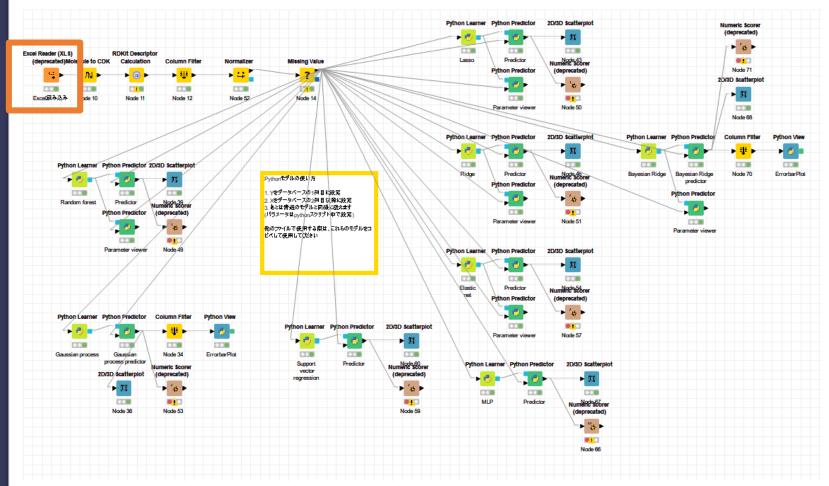


KNIMEの 設定画面を開く



KNIMEに Pythonを 設定

wikipedia_dbを読み込み



色々なモデルが入っているので、便利かもしれません

20200721wiki_tutorial 4 を開く

利用出来るモデル

Scikit-learnと呼ばれるPython用ライブラリを KNIME上で使用出来るように プログラムコードを書いています Lasso

Ridge

Elastic net

Random forest

Gaussian process

Support vector machine

Bayesian ridge

Multi layer perceptron (MLP)

モデルの説明等はこちら https://scikit-learn.org/stable/user_guide.html

TODO

実例で色々と機械学習を試す